

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公開番号】特開2014-209379(P2014-209379A)

【公開日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-061

【出願番号】特願2014-139335(P2014-139335)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/044 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/041 5 7 0

G 0 6 F 3/041 5 9 0

G 0 6 F 3/041 5 1 2

G 0 6 F 3/044 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月29日 (2014.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感知表面における事象の画像を生成する装置であって、

センサパネルに結合可能なオートスキャンロジック回路であって、第 1 の所定時間が経過した後に、センサプロセッサからの介入なしに、オートスキャンシーケンスを実行する機能を有するオートスキャンロジック回路を備え、

前記装置は、前記第 1 の所定時間が経過し、かつ較正時間が経過しない場合にのみ、オートスキャンシーケンスを実行する、装置。

【請求項 2】

前記オートスキャンシーケンスは、

前記センサパネルにおける事象の発生又は不発生を判定するために、前記センサパネルをスキャンするステップと、

前記事象の発生又は不発生を表す値を生成するステップと、

事象の発生又は不発生を表す前記値と所定の閾値とを比較するステップと、を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記オートスキャンロジック回路は、

前記第 1 の所定時間が経過した後、前記オートスキャンシーケンスを開始する探り出しタイマと、

第 2 の所定時間が経過した後、較正シーケンスを開始する較正タイマと、を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記オートスキャンシーケンスは、漂遊キャパシタンスを測定するステップを含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記較正シーケンスは、前記センサパネルに存在するドリフトに対して前記装置を較正

するステップを含む、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 6】

前記較正シーケンスは、前記センサパネルのアクティブなスキャンを含み、

前記アクティブなスキャンは、前記センサプロセッサによって実行される処理を含む、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 7】

前記事象は、前記センサパネルの表面に対する物体のタッチを含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

前記オートスキャンロジック回路は、事象を処理するための単一マルチタッチサブシステムの一部を形成する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記装置を合体したコンピューティングシステムをさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記コンピューティングシステムを合体した移動電話をさらに備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記コンピューティングシステムを合体したデジタルオーディオプレーヤをさらに備える、請求項 9 に記載の装置。